

令和7年度 第1回吹田市政策会議概要

日 時：令和7年8月14日（木）午前11時～午前11時45分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室 及び オンライン

出席者：（特別会議室に参集）後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、山下総務部長
（庁内テレビ会議システムにより出席）

岡田危機管理監、中村税務部長、大山市民部長、脇寺都市魅力部長、道場児童部長、北澤理事、田畑福祉部次長、中村健康医療部次長、松林保健所長、道澤環境部長、伊藤理事、真壁土木部長、梶崎理事、愛甲下水道部長、伊藤会計管理者、山田消防長、渡邊消防本部理事、岡本議会事務局長、杉原選挙管理委員会事務局長、秋房監査委員事務局長公平委員会事務局長兼任、東田農業委員会事務局長固定資産評価審査委員会事務局長兼任、井田学校教育部長、植田教育監、二宮地域教育部長、原田水道事業管理者職務代理者水道部長

所 管：【行政経営部（企画財政室）】今峰部長、宮崎次長、中村参事

【都市計画部（都市計画室）】清水部長、大椋次長、清水総括参事、達脇参事

案 件	令和8年度～令和12年度実施計画策定及び令和8年度予算編成の方針
担当及び関連部局	行政経営部（企画財政室）、都市計画部（都市計画室）
【案件概要】 令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）実施計画策定及び令和8年度予算編成の方針を定めるもの。	
【所管部の考え方】 本市では、転入超過に伴う社会増を中心とした、人口の増加を維持している。このような状況において、堅調な市税収入の下支えの下、第4次総合計画の実現に向けた「重点取組2023」を積極的に推進していくため、財政の健全性の維持と将来への必要な投資の両立を図りながら持続可能な財政運営を行い、本市の魅力や強みが増すようなまちづくりを進めているところである。今後とも、人口増加による市税の増収等、歳入増加が見込まれる中、各分野の施策の推進に努め、市民の期待に応えていくことが重要である。 ただし、人事院勧告に基づく人件費の上昇や物価高騰による労務単価の増など近年の予算及び決算の傾向を踏まえると、歳入の増を歳出の増が上回る状況も想定しており、収支均衡を図るための努力も必要である。第4次総合計画に掲げる財政運営の基本方針に係る指標が厳しい状況になっていることにも十分に留意しなければならない。 これらのことを念頭に置きつつ、国の動向等も踏まえながら、本市の方針に基づき取組を進めることとする。	

【質疑概要】

指示：各部局長は、本市の状況や社会動向、将来の見通し、国の財源を視野に入れたうえで予算を提案する責任がある。既存の事業の見直しをした上で、予算提案を行うこと。

指示：既存の事業について、人件費と事業費が効率的・効果的に使われているかをゼロベースで見直し、今求められているものに対して、注力できるような事業運営をすること。

【結果】

本件は、承認された。会議で出た指示を踏まえて取組を進めること。